

管機連 Daily News

2021年1月6日(水)

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

■日銀資産の増加額、最大の129兆円 20年12月時点

・新型コロナウイルス対応による資金供給で日銀の資産が膨らんでいる。日銀の5日の発表によると2020年12月末時点で702兆円で、1年前に比べ129兆円増加。データを開示する1998年以降で最大の増加額。増加率は23%で4年ぶりの高さ。日銀の資産のうち、最も伸び率が高かったのが銀行などへの貸出金だ。2020年末時点で111兆円と2.3倍に増えた。

◆介護への転職者に20万円 融資制度、2年就業で返済免除

・厚生労働省は4月に他業種から介護や障害福祉の職に就く人を支援する新たな制度を始める。資格取得までの研修費用や生活資金を国が支給するのに加え、就職前に20万円を貸し出す。2年間就労すれば返済を免除する。介護などの現場は人材確保に苦勞、新型コロナウイルス禍で失業した人を中心に2021年度に最低でも2万2千人の利用を目指す。

◆「看護大学院生を医療現場に」厚労省が協力要請

・厚生労働省は新型コロナウイルス感染症の広がりを受け、全国の看護系大学に対し、看護師の資格を持つ大学院生や教員を逼迫する医療現場に派遣するよう協力を求めた。コロナの入院治療には通常の倍以上の人手がかかり、人手不足が病床確保の障壁になっている。看護系大学は全国で約270ある。現場経験もある大学院生は多いという。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆「フラット35」最低金利3カ月ぶり下降

・住宅金融支援機構は1月4日、住宅ローン「フラット35」取扱金融機関が適用する1月の融資金利を発表。返済期間21年以上35年以下の最低金利は、融資率9割以下が1.29%、9割超が1.55%で、いずれも前月から0.02ポイント下がった。下がるのは3カ月ぶり。最も高い金利は、9割以下・2.06%、9割超・2.32%で、いずれも前月と同じとなっている。

◆11月のデジカメ世界出荷、前年比27%減少

・カメラ映像機器工業会(CIPA)は5日、2020年11月のデジタルカメラの世界出荷が前年同月比27%減の104万台だったと発表した。新型コロナウイルスの感染再拡大で減少率は10月の23%から悪化した。新型コロナの変異種が確認されるなど世界各国での感染者数の拡大などにより、消費財であるデジカメ市場の先行きも不透明な状況が続いている。

◆パナソニック、テスラ向け国産電池の供給契約を変更

・電気自動車大手の米テスラとパナソニックは5日までに、日本国内で生産する車載電池の供給契約を見直した。契約期間は2020年10月から22年3月までの1年半。電池価格やテスラの購入数量、パナソニックの投資計画について条件を明記したという。具体的な条件を明らかにしていない。

《 注目商品 》

■日本製鉄、「鉄の鉄学」企画を公式SNS(Twitter)で配信スタート

・鉄の豆知識など身近な鉄の魅力をお伝えするため、本日1月5日より「鉄の鉄学」企画を公式SNS(Twitter)でスタート。普段身の周りにある素材でありながら、その魅力を十分にお伝えできていない鉄についての豆知識や環境への取り組みについて、発信する企画。



■シャープ、大容量9.5kWhの住宅用クラウド蓄電池システム

・大容量9.5kWhの住宅用クラウド蓄電池システム<JH-WBPD9360>を発売。蓄電池本体は、底面ネジ穴レス設計を採用。地上高500mmまでの水位に対し、水が浸入しにくい構造を実現。万が一周囲が浸水しても、本体内部への水の浸入による故障リスクを低減。



■HiKOKI 安全性向上させた電子ハンドグラインダー

・電子ハンドグラインダーの新製品「GP 2V(SC)」を発売。従来機種「GP 2V」を二重絶縁に改良し安全性を向上。基礎絶縁が故障した場合でも、付加絶縁によって保護されるため、高い安全性を確保できる。握り部胴径が52mmと握りやすく連続作業でも疲れにくい構造となっている。

